

昭和二十一年度研究題目

(研究部)

昭和三十一年度 第一期 (自四月一日 至七月末日)

研究部 研究題目

21. 4. 25

1. 日本語における語の單位の研究
—— 形容動詞・副詞を中心として ——
後田

2. 基本文型の研究
—— 特にその範圍の限定について ——
森山

3. 熟語の体系の検討と
又三言句保諸社に於ける調査
伊丹

4. 素用漢字(一、二九五字)の者訓別造語力の調査
今井

5. 第一期後半)教材及び語法の研究
上原

6. 実用会話教本の英訳浄書
浅野

7. 日本語辞典の編纂
栗本 池尾 宮川

図書係 変更
森山 伊丹

辭典

新書發行

(四)

一月一日 15 日

準備完成期

昭和二十一年九月末

(新)

8 冊

十二月末

21.4.10

21.4.10

研究部用

日本語教育協會研究部

研究事項分擔表

(昭和二十一年一月―三月分)

一、日本語教育に關する研究調査

1 日本語教授の各段階に於ける教材及教法の研究

第一次 入門期教材及教法の研究 (上甲主事)

2 歐米人向日本語教材の選定

第一次 中期用教材の蒐集 (今井研究員)

二、日本語に關する研究調査

3 發音符號體系の検討と發音關係諸註記法の調査 (北條研究員)

4 ローマ字表記を中心とする現行わかちかき法の調査 (積田研究員)

三、日本語教科用圖書・普及資料等の編纂

5 日英對譯日本語學習辭典の編纂 (昭和二十一年度へ繼續)

(淺野研究員、栗原研究員、池尾研究員、宮川研究員)

6 歐米人向日本語社交會話教本の編纂 (淺野研究員、伊丹研究員)

(附記) 部内進行報告會 毎月一回 (二月より開始)

會内研究發表會 分擔研究完成時

現在會外へ依頼中の研究調査の整理 (中島總主事)

言語文化研究所研究部 研究事項分擔表

昭和二十一年度第一期（四月―七月）

一、日本語並に世界各言語に關する調査・研究

1 日本語における「語」の單位の研究（積田研究員）

1 形容動詞・副詞を中心として

2 基本文型の研究（森山研究員）

1 特にその範圍の限定について

二 學校に於ける言語教育並に一般社會の言語に關する教養を

向上せしむるための調査・研究

3 發音符號體系の検討と發音關係諸註記法の調査（伊丹研究員）

4 常用漢字の音訓別造語力の調査（今井研究員）

外國人に對する日本語教育に關する調査・研究

5 第一期（後半）教材及び教法の研究（上甲主事）

6 實用會話教本の英譯淨書（淺野研究員）

7 日本語學習辭典の編纂（繼續事業）

（栗原研究員、池尾研究員、官川研究員）

（附記）一、日本語學習辭典の一日一人當り責任語數を八語に変更、

したがつて第一次草稿完成期は本年十二月末に延期、

二 圖書管理係を森山研究員、伊丹研究員に変更、

言語文化研究所研究部 昭和二十一年度 第二期 (八月—十一月)

研究事項分擔表

- 一、 日本語並に世界各言語に關する調査・研究 (ナシ)
- 二、 學校における言語教育並に一般社會の言語に關する教養を向上せしむるための調査・研究 (ナシ)
- 三、 外國人に對する日本語教育に關する調査・研究
1 日本語學習における基本語の研究 (淺野研究員、伊丹研究員)
2 第二期教材及び教法の研究 (上甲主事)
3 學習用語の調査 (森山研究員)
4 日本語學習辭典の編纂 (繼續事業) (栗原研究員、池尾研究員)

言語文化研究所研究部 昭和二十一年度 第二期 (八月十一日)

研究事項分擔表

- 一 日本語並に世界各言語に關する調査・研究 (ナシ)
- 二 學校における言語教育並に一般社會の言語に關する教養を向上せしむるための調査・研究 (ナシ)
- 三 外國人に對する日本語教育に關する調査・研究
 - 1 日本語學習における基本語の研究 (淺野研究員、伊丹研究員)
 - 2 第二期教材及び教法の研究 (上甲主事)
 - 3 學習用語の調査 (森山研究員)
 - 4 日本語學習辭典の編纂 (繼續事業)
(栗原研究員、池尾研究員)

